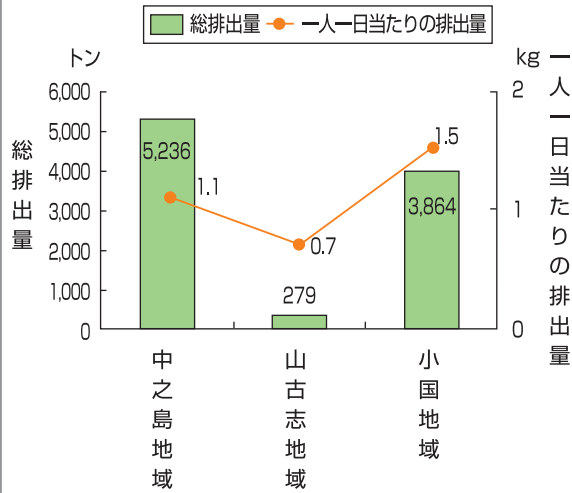


昨年10月、長岡・越路・三島地域では「ごみ改革（プラスチック容器包装材と枝葉・草の分別収集、家庭ごみの一部有料化、粗大ごみの戸別収集）」を実施しました。平成20年4月から、市内全域を長岡地域のごみと資源物の分け方・出し方に統一します。

平成16年度3地域のごみ排出量



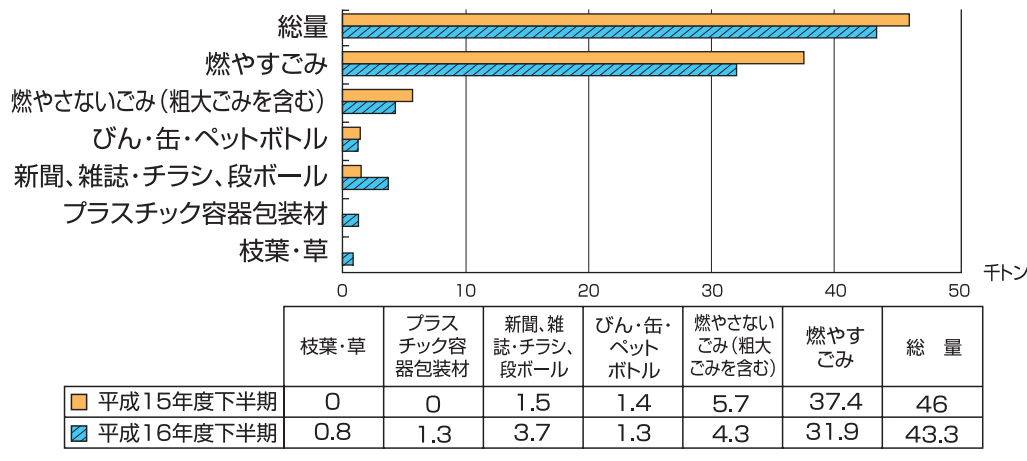
この2地域では、家庭ごみの有料化は実施していません。小国地域は、約3,900トンです。家庭ごみのうち「可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ」を平成12年5月から有料化しています。平成20年3月末までは、各地域ごとに今までどおりの分別収集を継続します。

【中之島・山古志・小国地域のごみの現状】平成16年度の中之島地域のごみと資源物の総量は約5,200トンです。山古志地域は、約280トン（震災により上半期のみ）です。



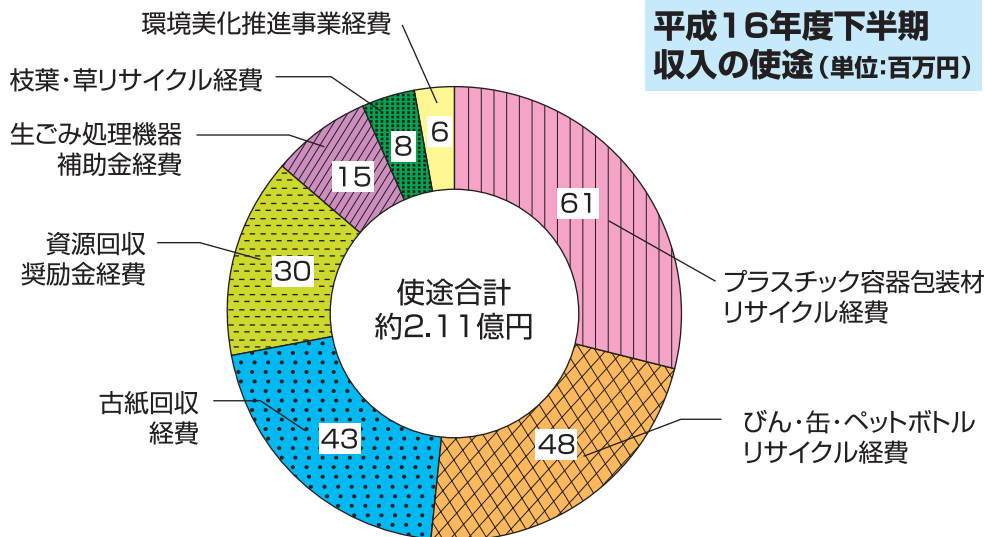
長岡・越路・三島地域では、昨年10月に「ごみ改革」を実施しました。

平成16年度下半期長岡・越路・三島地域のごみ改革後の量



■平成16年度下半期のごみと資源物の推移
ごみ改革実施後のごみと資源物の量は、平成15年度の同時期と比べると左のグラフのとおり、ごみは減り、資源物は増えています。これらの総量では6%減っています。住民の皆さんの協力で、ごみ改革は着実に効果が現れています。

平成16年度下半期収入の使途(単位:百万円)



■家庭ごみ一部有料化で得られた収入の使途
昨年度、長岡・越路・三島地域の指定袋の売上は約2億6,500万円です。そこから指定袋の作成・販売等委託料などの経費を除くと、約2億1,100万円の収入です。左のグラフのとおり、家庭ごみの一部有料化により得られた収入は、すべてごみの減量とリサイクルの推進事業に充てられています。